

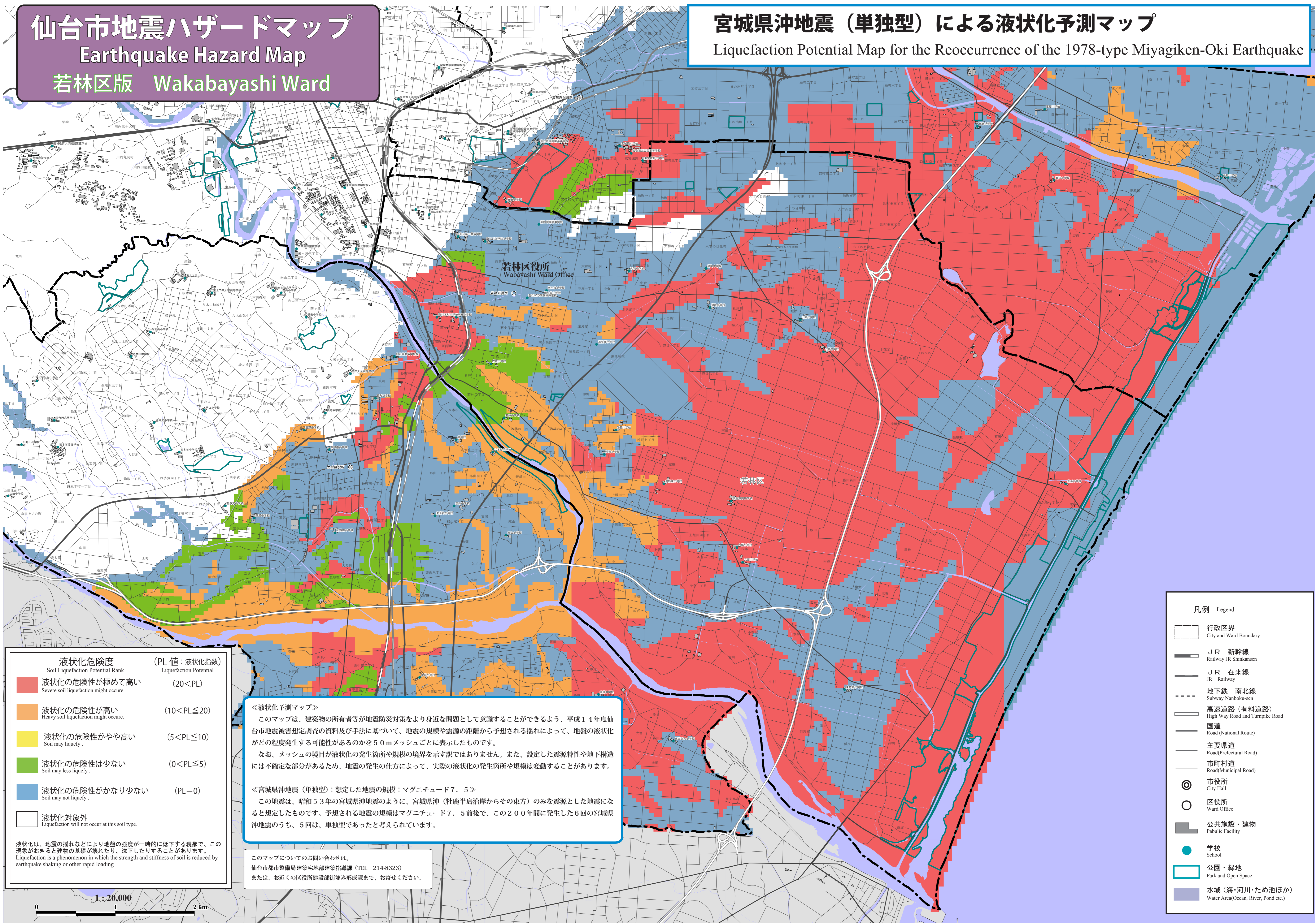
# 仙台市地震ハザードマップ

## Earthquake Hazard Map

### 若林区版 Wakabayashi Ward

# 宮城県沖地震（単独型）による液状化予測マップ

## Liquefaction Potential Map for the Reoccurrence of the 1978-type Miyagiken-Oki Earthquake



**液状化危険度**  
Soil Liquefaction Potential Rank

**液状化の危険性が極めて高い**  
Severe soil liquefaction might occur. (20 < PL)

**液状化の危険性が高い**  
Heavy soil liquefaction might occur. (10 < PL ≤ 20)

**液状化の危険性がやや高い**  
Soil may liquefy. (5 < PL ≤ 10)

**液状化の危険性は少ない**  
Soil may less liquefy. (0 < PL ≤ 5)

**液状化の危険性がかなり少ない**  
Soil may not liquefy. (PL = 0)

**液状化対象外**  
Liquefaction will not occur at this soil type.

液状化は、地震の揺れなどにより地盤の強度が一時的に低下する現象で、この現象がおきると建物の基礎が壊れたり、沈下したりすることがあります。  
Liquefaction is a phenomenon in which the strength and stiffness of soil is reduced by earthquake shaking or other rapid loading.

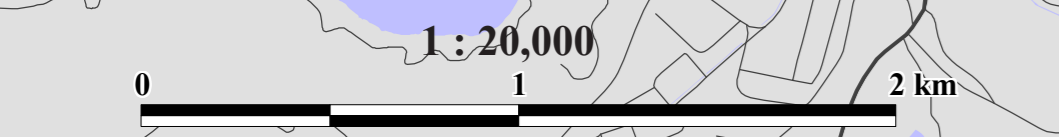
《液状化予測マップ》  
このマップは、建築物の所有者等が地震防災対策をより身近な問題として意識することができるよう、平成14年度仙台市地震被害想定調査の資料及び手法に基づいて、地震の規模や震源の距離から予想される揺れによって、地盤の液状化がどの程度発生する可能性があるのかを50mメッシュごとに表示したものです。  
なお、メッシュの境目が液状化の発生箇所や規模の境界を示す訳ではありません。また、設定した震源特性や地下構造には不確定な部分があるため、地震の発生仕方によって、実際の液状化の発生箇所や規模は変動することがあります。

《宮城県沖地震（単独型）：想定した地震の規模：マグニチュード7.5》  
この地震は、昭和53年の宮城県沖地震のように、宮城県沖（牡鹿半島沿岸からその東方）のみを震源とした地震になると想定したものです。予想される地震の規模はマグニチュード7.5前後で、この200年間に発生した6回の宮城県沖地震のうち、5回は、単独型であったと考えられています。

このマップについてのお問い合わせは、  
仙台市都市整備局建築宅地部建築指導課（TEL 214-8323）  
または、お近くの区役所建設部街並み形成課まで、お寄せください。

**凡例 Legend**

- 行政区界 City and Ward Boundary
- J R 新幹線 Railway JR Shinkansen
- J R 在来線 JR Railway
- 地下鉄 南北線 Subway Nanboku-sen
- 高速道路（有料道路） High Way Road and Turnpike Road
- 国道 (National Route)
- 主要県道 Road/Prefectural Road
- 市町村道 Road/Municipal Road
- 市役所 City Hall
- 区役所 Ward Office
- 公共施設・建物 Public Facility
- 学校 School
- 公園・緑地 Park and Open Space
- 水域（海・河川・ため池ほか） Water Area (Ocean, River, Pond etc.)



このマップの作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（空間データ基盤）「宮城」「山形」及び数値地図2500（空間データ基盤）「東北II」を使用したものです。（承認番号 平19東使第21号）

このマップは、住宅・建築物の耐震化を促進することを目的に作成した想定図です。